

## 平成30年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立大型児童館ビッグバン	指定管理者：一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	指定期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課：福祉部子ども室子育て支援課
---------------------	-------------------------	---------------------------	-------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の 指摘・提言
		評価 S～C	評価 S～C			
Ⅰ 提案の履行状況に関する項目	<p>(1) 施設の設置目的（大型児童館A型の機能）及び管理運営方針</p> <p>施設の設置目的に沿った運営            府内の児童館情報の把握・相互利用等や、児童厚生員・ボランティアの育成等、大型児童館A型の機能（府内児童館への指導や連絡調整、児童館活動の啓発、児童厚生員研修の実施 など）が確保されているか。</p> <p><b>※指定管理者提案 具体例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援事業の実施（28:4回実施）</li> <li>・地域イベントへの参画</li> <li>・児童厚生員研修の実施と参加呼びかけ（28:4日間、延べ参加者801名）</li> <li>・近隣大学等の実習生受入、「講師派遣」「講師招聘」等相互連携の実施（28：実習 3校9名）</li> </ul>	<p><b>1) 大型児童館としての機能</b></p> <p><b>①児童館情報の把握、遊びの提供普及</b>            府内4館を取材し児童館情報としてイベントチラシに掲載。            ・松原市人権交流センター（夏休み号）            ・吹田市立朝日が丘児童センター（9・10月号）            ・吹田市立寿町児童センター（11・12月号）            ・吹田市立高城児童会館（1・2・3月号）            また、移動ミュージアムを49か所に出動し、遊びを提供（うち児童館6か所。児童館には1館あたり10万円まで当館負担制度実施）。</p> <p><b>②子育て支援人材の育成</b></p> <p>a. 児童館・児童クラブ職員が、その役割について理解と認識を深め、活動内容が一層の向上を図ることを目的として大阪府児童厚生員研修会を10、11月に4日間開催し、府内26市町村から延べ589名（昨年度662名）が参加。            b. 実習生の受け入れ（児童厚生員・保育士養成）4校、10名（10日間）            c. 大阪健康福祉短期大学こども福祉学科「児童館の機能と運営」講師派遣            大阪教育福祉専門学校児童体育コース「児童館の活動内容と指導法」講師派遣            d. インターシップの受け入れ            大学生1名            e. 職場体験実習の受け入れ            堺市立赤坂台中学校 5名            堺市立福泉中学校 5名</p> <p><b>③ボランティアの育成</b>            子どもたちへの遊び支援等を行うボランティアクルーを募集（17名新規登録）。            現任及び新規ボランティアクルーを対象に、子ども達の遊びを支援するために必要な知識や実技、救命技能に関する講座を開催（1月と3月、3日間）。新任については、さらに実地研修も行う（2～3月、4日間）。</p>	A	<p>①イベントチラシやホームページに府内児童館情報を掲載するほか、移動ミュージアムによる地域に出向いての遊びの提供に努めている。</p> <p>②児童厚生員研修の延べ参加者数は前年度より73名減となっているが、概ね研修受講者の満足を得ている。            また、近隣大学等の実習生の受入、大学等で講義を担当、インターンシップや職場体験実習の受入をするなど、児童の遊びを指導する人材育成取り組んでいる。</p> <p>③遊びの指導及び救急講習など適正に養成講座が実施されており、ボランティアの育成がなされている。</p>	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S~C		S~C	
I 提案の 履行状況に 関する項目		<p>④歴史的資料、文化の展示、公開 昭和30年代街並みを再現し展示するとともに、街並みの「空き地」を活用し、紙芝居の定期公演（毎月第3日曜日）及び飴細工体験（月3回程度）を実施。</p> <p>⑤地域の子育て支援 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">A</span> a. 子育て講座（託児つき） プール学院大学・NPOと連携し、保護者及び子育て支援者向けに講座実施（年4回） ・テーマ「防災」「双子」「子育て中のリフレッシュ」（併せて学生による託児も実施） 加えて、アレルギー講座を実施 b. 子育てコンテンツの貸し出し 地域の子育てサークルへのおもちゃ等の無料貸し出し（2サークル延べ4回）。</p> <p>⑥地域イベントへの参画協力 ダンスフェスタ（6月）、ハロウィンパレード（10月）、クリーンキャンペーン（11月） ビッグアイ事業への移動ミュージアム協力（11月）</p>		<p>④30年代の街並みを背景に当時使用されていた紙芝居の実演をするなど、昔の文化・歴史に触れ、学ぶ機会の提供を行っている。</p> <p>⑤子育て講座については、学生による託児の実施など、子どもを連れて参加しやすい工夫を行うとともに、昨年度に引き続き食物アレルギーのある子どもを持つ保護者向けの講座を実施するなど、多様なプログラムに取り組んでいる。また、地域の子育てサークルへの支援を行うなど、子育て支援拠点の機能発揮に努めている。</p> <p>⑥隣接施設や地域での催事にも参画し、地域連携に努めている。</p>		
	(2) 平等な利用を図るための 具体的手法及び期待される 効果	<p>公平なサービス提供、対応</p> <p>〔 ・施設の利用において、平等利用が確保できているか（イベントの広報手法・受付方法等）。 ・施設の利用に配慮を要する人（障がい者等）に対し、援助が行われているか。〕</p> <p><b>※指定管理者提案 具体例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字、外国語（英、中、韓）パンフレットの作成</li> <li>・車椅子やベビーカーの貸出し</li> <li>・障がい者、特定疾患患者等への入館料半額減免</li> </ul>	<p>1) 配慮を要する人への援助 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">A</span></p> <p>①点字版パンフレットの作成 ②外国語（英・中・韓）パンフレットの作成 ③ホームページを3カ国語に翻訳する機能設置 ④車椅子やベビーカーの貸出 ⑤ベビーカー置き場の設置 ⑥障がい者、特定疾患患者等への入館料半額免除+介護者1名全額免除 ⑦65歳以上の高齢者入館料半額免除 ⑧食物アレルギーのある子どもの保護者向けに講座（ベジクッキーや石鹸づくりなど）を開催。</p>	A	<p>当初の提案どおり障がい者や乳児同伴者、高齢者、外国語など施設の利用に配慮を要する人に対して細やかな対応がなされており、公平なサービス提供・対応がなされている。</p>	A

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言																		
			S~C		S~C																			
I 提案の 履行状況 に関する 項目	<p>(3) 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果</p> <p>利用者増加のための工夫  <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者増加のための工夫として、利用料金の工夫や、効果的な広報活動（団体・リピーター促進）を行っているか。</li> <li>・その他、利用者の増加・満足につながる取り組みを行っているか。</li> </ul> </p> <p>目標入館者数：年間25万人</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="6">【参考】過去5年間の入館者数</th> </tr> <tr> <th>実</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <th>績</th> <td>256,975</td> <td>257,146</td> <td>251,373</td> <td>233,698</td> <td>236,186</td> </tr> </table> <p>※指定管理者提案 具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者の3割を占める団体利用者の誘致（学校、子ども会、自治会他）</li> <li>・旅行代理店発行のクーポン券を利用可能とする</li> <li>・パスポート会員への特典付与によるリピーター確保</li> <li>・各種割引制度の実施、訪日旅行者の取込み</li> </ul>	【参考】過去5年間の入館者数						実	H24	H25	H26	H27	H28	績	256,975	257,146	251,373	233,698	236,186	<p>1) 効果的な広報活動</p> <p>①イベントチラシ3万部程度を作成 概ね2ヶ月ごとに作成。小学校、幼稚園、保育園を中心に配付するとともにホームページ等で告知している。 さらに、年度当初には小学校、認定こども園や幼稚園等へ遠足誘致チラシを配布。（送付施設数：約4,300か所）</p> <p>②他施設と連携したイベント実施と広報 南海電鉄広報誌の沿線周遊企画として、南大阪地域3施設（ハーベストの丘、さかい利品の杜、花の文化園）と連携し各施設にてそれぞれのイベント企画を相互に実施。</p> <p>③民間企業が実施するイベントへの参画 泉北高速鉄道主催「トレインフェスタ2018」に出店及び広報活動実施。</p> <p>④鉄道ラッピング車両の運行 泉北高速鉄道から南海電鉄乗入れ。広域的に話題づくりを図る。</p> <p>-----</p> <p>2) 団体の誘致</p> <p>①子ども会 八尾市子ども会施設利用助成制度との提携を継続。他市町村自治体の制度等について引き続き連携を模索している。</p> <p>②障がい児施設 府内児童発達支援センター24カ所にパンフレット等配架。</p> <p>③市町村教委 堺市小学校校長会にて当館への遠足誘致及び移動ミュージアムを紹介。</p> <p>④観光業界 近隣施設ビッグ・アイ主催、堺ホテル協会共催の観光業界イベントに出展及び旅行社視察の受入れ。旅行社を通じた来館者の拡大を図った。（アクシブル・ツーリズムプレビュー2018）</p> <p>また、広報営業活動の参考とするため、団体の来館履歴をデータベース化し活用。</p> <p style="text-align: center;">B</p> <p>3) 入館券販売の工夫（再来館促進） 夏の特別パスポートの販売（H30.6.23～9.2）大人2,000円、小・中学生1,600円、幼児（3歳以上）1,200円で販売。 6月129名、7月390名、8月79名</p>	A	<p>1) チラシの配布による学校団体等の利用促進を図るとともに、ホームページによる幅広い告知や企業と連携した広報を行うなどの子育て世代層へのPRに努めている。</p> <p>-----</p> <p>2) 3) 4) 5) 団体、施設、地元市、旅行会社との連携やデータベース化による団体誘致に向けた工夫を行っている。 また、特別パスポートの販売や訪日旅行者の取込み、新たな福利厚生団体等との連携を行い、新規顧客の開拓に取り組んでいる。</p>	A	<p>○来館者履歴のデータベース化を活用した、より効果的な広報に取り組まれない。</p> <p>○移動ミュージアムの出動先において、チラシ以外にも割引券などを配布するなど来館を促す工夫を図られたい。また、移動ミュージアムでの案内をきっかけに来館された方の把握ができるようにされたい。</p>
		【参考】過去5年間の入館者数																						
実	H24	H25	H26	H27	H28																			
績	256,975	257,146	251,373	233,698	236,186																			

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S~C		S~C	
「提案の履行状況に関する項目		<p><b>4) インバウンドの取り込み</b> 3カ国語分の施設案内パンフレットを用意、ホームページを3カ国語に翻訳する機能設置。</p> <p><b>5) 新たな福利厚生団体等との連携</b> ①おもにグループや団体向け 近畿地区子ども会連絡協議会 (H30.6月～) 育成カード提示でバス駐車代免除、子ども向けグッズプレゼントなど ②他府県等広域的取り組み 全国教職員互助団体協議会 会員証提示で入館料2割引</p> <hr/> <p><b>6) LINE の活用</b> 定期的情報配信 (月1回)。友達登録していただいた方に、平日の大人入館無料、休日のこども劇場無料などを実施し再来館を促進。(友だち登録12月末約7,959名。前年比プラス1,216名)。 <b>C</b></p> <hr/> <p><b>7) 新メディアの活用</b> ①他府県等広域的取り組み ハッピープレゼントクーポン神戸版 ニュース和歌山へ (夏休みイベントの紹介など)</p> <p>②民間企業との連携 大阪トヨペット・京都トヨタ系列オリジナル冊子</p> <p><b>8) 取材の受入れ</b> 【ラジオ】エフエム大阪、KBS 京都ラジオ、 【新聞・情報誌】産経新聞、読売新聞、webマガジン、サンケイリビング</p> <p>以上の取組みを行い、入館者数は1月末累計対前年比約1%程度増加したものの、年間25万人という当初の目標値は達成できない見込み。</p>		<p>6) 定期的なイベント情報の発信など、SNSを活用した広報に取り組んでいる。また、友達登録者数も年々増加しており、リピーターの確保に努めている。</p> <hr/> <p>7) 8) 新たな広報媒体の活用や、マスコミ取材を受け入れるなど、積極的な広報活動に取り組んでいる。</p> <p>以上のことから利用者増加のための様々な工夫をこらした取組を行っているが、目標値の25万人を下回る見込みであり、一層の工夫・取り組みが求められる。</p>		

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言	
			S~C		S~C		
I 提案の 履行状況 に関する 項目	(4) サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果	魅力的なプログラムの開発 〔 ・プログラム内容は、新たなニーズをくみ取るなど、工夫されているか。 ・屋外施設（後背地・交流広場等）を活用した取り組みを行っているか。 〕  <b>※指定管理者提案 具体例</b>  ・概ね2か月ごとに全館事業を企画、実施 ・創造性を育む工房事業、食べ物への関心を引き出すキッチン事業の実施 ・子ども劇場で、親子一緒に楽しめる公演を実施 ・近隣保育園を対象に園外保育の受入や森の探検を実施 ・冒険遊び場として自然体験活動を実施 ・森の中で「読み聞かせ」を実施 ・フリマや子どもグッズの物々交換会の開催	<b>1) 新たなプログラム</b> ①お天気展(4・5月号) ②『全国児童館こいのぼりがいっぱいプロジェクト』参加(5月) 「うるこ」に「元気」を書いて貼付 ③敬老の日ワークショップ(9月) 祖父母といっしょに工作など ④こども商店街(9月) 子ども達の販売体験 ⑤看護学校との連携企画(12月) 子ども達が学びながら楽しめる催しを看護学生が企画運営 ⑥ボードゲームであそぼう(11・12月号) ⑦アートな和しごと展(1・2・3月号) ⑧書き初め(1月) ⑨盲導犬引退犬と遊ぼう(1月) ⑩食育ワークショップ(1月) 不二製油(株)との連携 ----- <b>2) 屋外施設の活用</b> ①ちょっとバン 自然を活用したアクティブなプログラムを数多く実施。また、森の中で自然を感じながら絵本の読み聞かせを行う「森の図書館」を5回実施。 ②交流広場 キッズマーケットの開催(5月、10月) ③近隣エリア 地域イベントへの参画協力として、ダンスフェスタ(6月)、ハロウィンパレード(10月)、クリーンキャンペーン(11月)ビッグアイ事業への移動ミュージアム協力(11月)	A	1) 子どもが楽しめるだけでなく、敬老の日ワークショップでは祖父母と一緒に参加できる取り組みを企画実施。 また、看護学校と連携した企画や、企業と連携した企画も積極的に行っている。  ----- 2) 屋外施設を活用した様々な取組がなされ、冒険心や豊かな情操の育みに取り組みされているとともに、隣接施設や地域での共催事業にも参画し、積極的な事業展開に努めている。  以上のことから魅力的なプログラムの企画・実施が行われている。	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。
	(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	点検・補修の適格性、迅速性 〔 ・日々のメンテナンスや定期点検を通じ、遊具等の維持管理、安全の確保が図られているか。 ・施設管理に必要な有資格者を配置しているか。 ・迅速に施設修繕が実施されているか。 〕  <b>※指定管理者提案 具体例</b>  ・各種届出、保守点検を励行（消防法ほか） ・照明、音響、映像、展示遊具、舞台吊物などの定期点検の実施 ・修理修繕を迅速に実施し、来館者の快適環境の確保、地域住民の安全確保に努める	<b>1) 遊具等の維持管理、安全の確保</b> 各種法令に基づき、これを遵守。展示遊具、照明、映像などの定期点検に加え、毎日巡回し状況確認している。 <b>2) 有資格者の配置</b> 施設管理に必要な電気主任技術者の配置、建築物環境衛生管理士を選任。 <b>3) 修繕の実施</b> 設備や遊具等の修繕は適時実施。内容により、府所管課との役割分担を踏まえ協議。安全・安心の確保に努める。	A	1) 2) 3) 適切に有資格者を配置し日常的な点検・定期点検の実施とともに、必要な施設の設備修繕を行うなど、利用者の安心・安全確保に努めている。  以上のことから、施設の点検・補修の適格性、迅速性が認められる。	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言	
			S~C		S~C		
I 提案の 履行状況 に関する 項目	(6) 府施策との整合	<p>提案の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府施策への協力（府施策へ協力しているか）</li> <li>・就職困難者の雇用（就職困難者を雇用しているか）</li> <li>・府民、NPO との協働（府民、NPO と協働事業を実施しているか）</li> <li>・環境問題への取組み（環境問題に取り組んでいるか）</li> </ul> <p><b>※指定管理者提案 具体例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者雇用率 8.51%（継続維持すべき状態）</li> <li>母子家庭の母の雇用 1 名（継続維持すべき状態）</li> <li>・ちょっとバン事業を NPO と協働実施</li> <li>「こども劇場」市民劇団による公演会を協働事業として実施</li> <li>・リサイクルペーパーの使用、コピーの裏面利用、館内照明の一部を LED 化、工房事業で廃材利用した作品作り</li> </ul>	<p><b>1) 府施策への協力</b></p> <p>ア. 大阪府警自転車交通安全教室 クイズラリーや体験コーナーなど。自転車の安全な乗り方等に関する啓発。</p> <p>イ. お仕事体験教室「錠剤を作ってみよう」 大阪府と塩野義製薬株式会社との事業連携に基づき実施（夏休み号）</p> <p>ウ. スマホアプリを使った情報発信 ダイドードリンコのアプリ「スマイルスタンド」の登録者への情報発信。</p> <p>まいど子どもカードの協賛店登録、アクティブシニアパートナー施設登録、ともに生きる障がい者展への協力（以上、福祉部）なにわなんでも大阪検定合格者割引適用、メールマガジン読者プレゼントの提供（以上、府民文化部）、子どもファーストデイの協力（教育庁）、その他府が主催する各種催事等の広報への協力。</p> <hr/> <p><b>2) 雇用・就労支援</b></p> <p>①総務業務において障がい者（24 歳男性。電動車椅子利用）1 名を継続雇用。</p> <p>②大阪障害者職業能力開発校の職場体験実習の受入れ。（春期及び秋期／各 2 回それぞれ 3 日間）</p> <hr/> <p><b>3) 府民、NPO との協働</b></p> <p>府民ボランティアの受入れ、アドバイザー委員として地元自治会が参画、NPO との協働で冒険遊び場を運営、市民劇団によるこども劇場公演、中学生の職場体験受入れなどを行っている。</p> <hr/> <p><b>4) 環境問題への取組み</b></p> <p>ウッドキューブの設置により循環型社会について、また工房事業では工作に廃材を利用するなど、子ども達への啓発を行うとともに、再生紙の利用やコピーの裏面利用はもとより、バックヤードや事務室の蛍光灯の間引き、冷暖房のきめ細かな管理など、省資源省エネルギーに努める。</p>	S	<p>1) 従前より福祉施策に限らず福祉部以外の大阪府部局の施策に協力していることに加え、新たな要請にも積極的に対応するなど、一層の府施策に協力している。</p> <hr/> <p>2) 施設において障がい者の雇用を継続するとともに、職業訓練校生の職場体験実習を受け入れており、引き続き障がい者の雇用・就労支援に取り組んでいる。</p> <hr/> <p>3) ボランティア（ビッグバンクルー）による遊びの指導や市民劇団による遊び（演劇）の提供など、府民等との協同で取り組んでいる。</p> <hr/> <p>4) 遊具やプログラムを通じて子どもたちへの啓発を行うとともに、電力消費量の削減など、省資源、省エネルギー化に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>以上のことから、多岐にわたり府施策との整合が図れている。</p>	S	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S~C		S~C	
(1) 利用者満足度調査等  エキスパートサービスの向上に関する項目	アンケート結果等の運営への反映状況 ・利用者のニーズを適切に把握できているか(回数・人数等)。 ・来館者アンケートで集約した利用者の意見をサービス改善に役立っているか。	<b>1) 来館者アンケート</b> <b>(実施期間：H30年4月～H31年3月)</b> アンケート用紙の設置だけでなく、スタッフによる声かけを行うなど、回収率を高めるよう努めた。また、アンケート結果(H29年度分)についてはHPへ掲載した。 ※12月時点集計 <b>【回収】</b> 大人 250枚 子ども 845枚 <b>【結果】</b> ・大人 総合的満足度 大変満足+満足=79.2% ・子ども また来たい 91.3% 来たくない 1.1% 点数 80点以上 85.0% 50点以下 0.8%など、概ね好評を博している。 <div style="text-align: center; border: 1px solid orange; padding: 2px;">D</div>	A	1) アンケート結果から、概ね利用者に満足いただいている。また、アンケートの回収率の向上にも努めている。	A	○アンケート結果の公表について、HPのより分かりやすい場所へ掲載するなどの工夫を図られたい。  ○アンケートの回答数を増加させるため、紙だけでなくWEBでの回答ができるように対応を検討されたい。また、回答いただいた方へ割引券、イベントの無料参加券を配布などの特典をつける等、回答数の増加に向けた工夫を図られたい。
		<b>2) アンケート結果を踏まえた取組み</b> ①英語を使った企画をしてほしい →英語人形劇の実施(9・10月号) ②動物とのふれあいをしたい →盲動犬とのふれあいやミニ動物園での小動物とのふれあい(1・2・3月号) ③おしごと体験をしたい →「こども商店街」実施(9・10月号) ④科学や実験に興味をもてるような企画をしてほしい →科学実験ショーの実施(4・5月号、6・7月号、1・2・3月号) ⑤迷路をしてほしい →迷路を実施(6・7月号、春休み号) ⑥ビッグバン遊園地、ふわふわ遊園地スペシャルがしたい →多数のふわふわ遊具を集めた「ビッグバン遊園地」実施(夏休み号) <div style="text-align: center; border: 1px solid orange; padding: 2px;">D</div>		2) 子どもの希望を踏まえたプログラムを実施するなど、アンケート結果を運営に反映するよう努めている。		
		<b>3) ふり返しシートの活用</b> ボランティアクルーが「ふり返しシート」を毎日記載し、来館者の様子や反省点などで行動に活かせる事項を「ちょっといい話」としてスタッフ間で共有。		3) ボランティアクルーが行動を振り返り、今後の活動に活かせる内容をピックアップしてクルー間で共有化することで、利用者の満足度向上につなげている。		

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S～C		S～C	
Ⅱ おもむくサービスの向上に関する項目	(2) その他創意工夫	<p>その他、指定管理者によるサービス向上につながる 取組み、創意工夫</p> <p>サービス向上につながる独自の取組みや創意 工夫を行っているか。</p>	○指定管理者による独自の取組み、創意工夫	A	創意工夫した様々な取組によりサービス向上を図っており、引き続き入館者数増加につなげるための取組みが期待される。	A
			<p>①ボランティアプレイリーダーによる遊び援助</p> <p>②ベビーカーの貸し出し（5台）</p> <p>③外国語（英語、中国、韓国）のパンフレット設置</p> <p>④点字パンフレットの設置</p> <p>⑤障がい者、介助者・引率者の減免</p> <p>⑥65歳以上の高齢者入館料半額免除</p> <p>⑦わかりやすい館内サインの設置</p> <p>⑧バス駐車場 20 台分の堺市と契約による確保</p> <p>⑨看護師の常駐</p> <p>⑩季節に合わせたディスプレイ（巨大クリスマスツリー、正月飾りなど）</p> <p>⑪キッチン事業のスタンプカード配布</p> <p>⑫ビッグバンオリジナルプリクラ機の設置</p> <p>⑬誕生日新聞の設置</p> <p>⑭エントランススペースの活用（スノードーム、手作りキャンドル、文字アート等のワークショップほか）</p> <p>⑮入館券付き乗車券の販売</p> <p>⑯コンビニでの前売+福春セール</p> <p>⑰ビッグアイ利用者に当館の利用促進を図る共同企画</p>			



評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言																																			
			S~C		S~C																																				
③ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	事業収支計画に対する妥当性 ・ 提案の収支計画書に沿った運営がなされているか。 ・ そのための事業収入の増加及び人件費の抑制、施設管理料等の節減等が行われているか。	対前年比増収見込みではあるものの、夏場の猛暑に伴う光熱水費支出増が響き約 200 万円の赤字となる見込み。入館者の増を目指し工夫を凝らしていきたい。	C	今年度の収支は約 200 万円の赤字決算となる見込みであることから、今後の安定的な運営を図るためにも、入館者の増加に、向けたより一層の取組が望まれる。	C	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。																																		
	<b>※指定管理者提案 具体例</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>〔収入〕</th> <th>〔提案委託料〕</th> <th>〔総収入〕</th> <th>〔総支出〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>221,796 千円</td> <td>20,070 千円</td> <td>241,866 千円</td> <td>241,866 千円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>221,796 千円</td> <td>13,540 千円</td> <td>235,336 千円</td> <td>235,336 千円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>221,796 千円</td> <td>15,575 千円</td> <td>237,371 千円</td> <td>237,371 千円</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>221,796 千円</td> <td>17,533 千円</td> <td>239,329 千円</td> <td>239,329 千円</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>221,796 千円</td> <td>19,397 千円</td> <td>241,193 千円</td> <td>241,193 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,108,980 千円</td> <td>86,115 千円</td> <td>1,195,095 千円</td> <td>1,195,095 千円</td> </tr> </tbody> </table>		〔収入〕	〔提案委託料〕	〔総収入〕	〔総支出〕	H28	221,796 千円	20,070 千円	241,866 千円	241,866 千円	H29	221,796 千円	13,540 千円	235,336 千円	235,336 千円	H30	221,796 千円	15,575 千円	237,371 千円	237,371 千円	H31	221,796 千円	17,533 千円	239,329 千円	239,329 千円	H32	221,796 千円	19,397 千円	241,193 千円	241,193 千円	計	1,108,980 千円	86,115 千円	1,195,095 千円	1,195,095 千円					
		〔収入〕	〔提案委託料〕	〔総収入〕	〔総支出〕																																				
H28	221,796 千円	20,070 千円	241,866 千円	241,866 千円																																					
H29	221,796 千円	13,540 千円	235,336 千円	235,336 千円																																					
H30	221,796 千円	15,575 千円	237,371 千円	237,371 千円																																					
H31	221,796 千円	17,533 千円	239,329 千円	239,329 千円																																					
H32	221,796 千円	19,397 千円	241,193 千円	241,193 千円																																					
計	1,108,980 千円	86,115 千円	1,195,095 千円	1,195,095 千円																																					
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	事業実施に必要な人員数の確保、配置従事者への管理監督体制・責任体制 ・ 提案どおりの職員体制を実施されているか。また、そのための職員採用等の必要な策が講じられているか。 ・ 職員の指導育成、研修体制について、計画的に実施させているか。 <b>※指定管理者提案 具体例</b> ・ 職員体制：15 名（常勤 9 名、非常勤 6 名） （内訳：館長 1 名、管理部門 5 名、事業部門 9 名）	<b>1) 職員体制</b> 常勤の館長を配し、事業現場にて迅速かつ柔軟に判断を行い、来館者ニーズに応じている。 （常勤 9 名、非常勤 4 名） ----- <b>2) 職員の研修体制</b> ①安全管理、人権研修を実施。 ②児童厚生員等、外部研修にも参加するなど、職員の資質向上に努めている。	A	1) 提案通り館長を常勤化し、責任体制の強化を図るとともに適正な職員体制を確保している。  2) 指定管理者が実施する研修のほか、外部研修にも職員を参加させており、適正な研修体制が確保されている。  以上のことから適正な人員配置及び安定的な運営が可能となる人的能力が確保されている。	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。																																			
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人の経営状況 ・ 指定管理期間（5 年間）を踏まえた継続的、安定的運営の視点で、指定管理者の経営規模・事業規模・財務状況は適正か。	30 年度は、資金収支で約 1,400 万円の黒字を見込んでおり、前期繰越金とあわせ約 4 億円の資金を保有する。しかし、29 年度において、社会福祉会館の耐震補強工事や設備改修工事（約 4 億 1,400 万円）を実施したため、約 4,000 万円の減価償却費を計上することになり、16.8 億円あった 29 年度末の正味財産は若干減少するが、当面の法人経営に支障はない。	A	法人の経営状態は安定しており指定管理業務の受託には問題ないと認められるが、当該業務の赤字が法人経営を揺るがすこととならないよう、指定管理業務の収支改善に努めていただきたい。	A	施設所管課の評価について、奥に指摘・意見なし。																																			